

第183回簿記能力検定試験

上級 商業簿記 解答速報

問題1

(単位：千円)

		借方科目	金額	貸方科目	金額
問1	(1)	設 備	31,866	当 座 預 金	30,000
				資 産 除 去 債 務	1,866
	(2)	資産除去債務調整額※1	93	資 産 除 去 債 務	93
		減 価 償 却 費	10,622	減 価 償 却 累 計 額※2	10,622
	(3)	資産除去債務調整額※1	98	資 産 除 去 債 務	98
	減 価 償 却 費	10,622	減 価 償 却 累 計 額	10,622	
(4)	資産除去債務調整額※1	103	資 産 除 去 債 務	103	
	減 価 償 却 費	10,622	減 価 償 却 累 計 額	10,622	
(5)	減 価 償 却 累 計 額	31,866	設 備	31,866	
	資 産 除 去 債 務	2,160	当 座 預 金	2,200	
	資 産 除 去 損 失※3	40			

〈次ページへ続〉 別解 ※1 利息費用、減価償却費でも可。 ※3 履行差額でも可。

※2 設備減価償却累計額でも可。

予想配点： ×各6点

問題2

連結精算表

01年4月1日～02年3月31日

(単位：千円)

貸借対照表	P社(親会社)		S社(子会社)		修正・消去		連結	
	資 産	負債純資産	資 産	負債純資産	借 方	貸 方	資 産	負債純資産
現金及び預金	14,750		7,500				22,250	
S社・売掛金	9,000					9,000		
貸倒引当金		90			70			
					20			
売掛金			6,000				6,000	
貸倒引当金				180				180
商品	8,000						8,000	
P社・商品			2,500			500	2,000	
建物	6,000		3,000				9,000	
減価償却累計額		2,400		1,200				3,600
備品	2,000		1,000			150	2,850	
減価償却累計額		800		400	30			1,170
土地	15,000		4,000		1,000		20,000	
S社・株式	9,500					9,500		
のれん					260	26	234	
繰延税金資産	50				150		236	
					36			
買掛金		3,710						3,710
P社・買掛金				9,000	9,000			
繰延税金負債				120		300		447
						21		
						6		
資本金		40,000		10,000	10,000			40,000
利益剰余金		17,300		3,100	3,077			17,323
評価差額					700	700		
非支配株主持分						4,140		4,140
	64,300	64,300	24,000	24,000	24,343	24,343	70,570	70,570

〈次ページへ続〉

予想配点： ×各4点

問題1

<前ページから続く>

(単位：千円)

		借方科目	金額	貸方科目	金額
問2	(1)	売建オプション ※1	400	当座預金	400
	(2)	売建オプション ※1	200	オプション差益 ※2	200
	(3)	当座預金	900	売建オプション ※1 オプション差益 ※2	600 300

予想配点：各6点

別解 ※1 オプション資産でも可。 ※2 オプション差損益、オプション損益でも可。

問題2

<前ページの貸借対照表から続く>

損益計算書	費用	収益	費用	収益	借方	貸方	費用	収益
売上高		24,500		30,000	24,500			30,000
売上原価	20,100		25,000		500	24,500	20,500	
						600		
給料	1,800		1,500				3,300	
減価償却費	240		120			30	330	
貸倒引当金繰入額	20		60			20	60	
S社・受取配当金		280			280			
その他の費用	1,420		1,720				3,140	
のれん償却額					26		26	
固定資産売却益		150			150			
非支配株主損益					300		300	
法人税等	500		450				950	
法人税等調整額		50	150		180	150	100	
					6	36		
計	24,080	24,980	29,000	30,000	25,942	25,336	28,706	30,000
当期純利益*	900		1,000			606	1,294	
	24,980	24,980	30,000	30,000	25,942	25,942	30,000	30,000
株主資本等変動計算書	減少	増加	減少	増加	借方	貸方	減少	増加
資本金								
当期首残高		40,000		10,000	10,000			40,000
期中変動	—	—	—	—				
計	0	40,000	0	10,000	10,000	0	0	40,000
当期末残高	40,000		10,000			10,000	40,000	
	40,000	40,000	10,000	10,000	10,000	10,000	40,000	40,000
利益剰余金								
当期首残高		17,000		2,500	2,500	70		16,629
期中変動					21	180		
計					600			
剰余金配当	600		400			400	600	
当期純利益*		900		1,000	606			1,294
計	600	17,900	400	3,500	3,727	650	600	17,923
当期末残高	17,300		3,100			3,077	17,323	
	17,900	17,900	3,500	3,500	3,727	3,727	17,923	17,923
非支配株主持分								
当期首残高						3,960		3,960
期中変動					120	300		180
計					120	4,260	0	4,140
当期末残高					4,140		4,140	
					4,260	4,260	4,140	4,140

※連結の場合には、「親会社株主に帰属する当期純利益」となる。

予想配点： ×各4点

問題1

番号	正誤	理 由
1.	×	いまだ提供していない役務に対して支払を受けた対価をいう。
2.	×	独立した各経営部門の間における商品等の移転によって発生した損益は、振替損益ではなく内部利益である。
3.	○	
4.	×	継続適用を条件として、再調達原価によることができる。
5.	○	
6.	×	平均的な期間以内の一定の年数で按分した額を每期費用処理する。
7.	○	
8.	×	取得関連費用は、発生した事業年度の費用として処理する。
9.	○	
10.	×	過去の財務諸表における誤謬の訂正は、会計上の変更に該当しない。

予想配点：各4点

問題2

用語	
問1	(a) 投資その他の資産
	(b) 正常営業循環
	(c) 1年

用語	
問1	(d) のれん
	(e) 剰余金

予想配点：4点

問2

繰延税金資産に関連した資産・負債の分類に基づいて、流動資産又は固定資産（投資その他の資産）に分類する。

予想配点：4点

問3

(1)	① 開業費	② 開発費
(2)	繰延資産に該当する株式交付費は、企業規模の拡大のためにする資金調達などの財務活動に係る費用を前提としているためである。	

別解 (1) は上記の他に、創立費、社債発行費（等）でも可。

予想配点： ×各4点

予想配点： × 3点

問4

繰延資産は換金価値がないため、分配可能額の計算において減ずるべき額として考慮する。

予想配点：4点

問題3

	用語	計算式	意味
例示	売上高売上純利益率	$\frac{\text{売上総利益}}{\text{売上高}} \times 100$	売上高に占める粗利の割合
(1)	ROE	$\frac{\text{当期純利益}}{(\text{期首株主資本} + \text{期末株主資本}) \div 2} \times 100$	株主資本に占める当期純利益の割合
(2)	配当性向	$\frac{\text{配当金}}{\text{当期純利益}}$	企業利益のうち、どれだけが株主に還元されたかを示す割合
(3)	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	短期の債務である流動負債の支払いに対応できるかどうかを示す割合

予想配点： ×各4点

予想配点： ×各3点

第183回簿記能力検定試験

上級工業簿記 解答速報

問1

副産物評価額	336,000 円
第1工程月末仕掛品原価	323,960 円
第1工程完了品原価	6,922,790 円

予想配点：各5点

問2

(金額単位：円)

第1工程仕掛品

前月繰越	[260,990]	第2工程仕掛品	[5,680,970]
材料	[2,602,760]	(中間製品X)	[1,241,820]
加工費	[4,719,000]	(副産物)	[336,000]
	[7,582,750]	(次月繰越)	[323,960]
			[7,582,750]

副産物

前月繰越	[22,400]	(売上原価)	[330,400]
(第1工程仕掛品)	[336,000]	(次月繰越)	[28,000]
	[358,400]		[358,400]

予想配点：×各5点

問3

	前工程費	追加材料費	加工費	合計
第2工程月末仕掛品原価	656,934 円	0 円	171,810 円	828,744 円
第2工程完了品原価	5,284,036 円	1,850,000 円	4,606,500 円	11,740,536 円

予想配点：×各5点

問4

	当月販売高
副産物	354,000 円
中間製品X	2,296,000 円
製品X	18,496,000 円

予想配点：×各5点

×各3点

×各2点

第183回簿記能力検定試験

上級工業簿記 解答速報

問5

(金額単位：円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
本社売上原価	18,496,000	本社売上	18,496,000
	11,490,945	製品X	11,490,945

予想配点：5点

問6

(金額単位：円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
月次損益	5,984,236	本社	5,984,236

予想配点：5点

問7

(ア)	工程	(イ)	異種	(ウ)	主副
(エ)	正常市価	(オ)	連結*		

※別解：結合でも可

予想配点：各2点

問8 割り切れない場合には、小数点以下第3位を四捨五入すること

(等価係数) 第1工程完了品X：第1工程完了品Y = 1 :

予想配点：5点

問9

第1工程月末仕掛品原価	323,960円
第1工程完了品X原価	6,122,632円
第1工程完了品Y原価	1,136,158円

予想配点： ×各5点
 ×各3点
 ×各2点

問10

等級別総合原価計算と同様に、同一工程で生産される製品を計算対象とし、また、等価係数を用いて連結原価を各製品に按分する点で類似している。一方、等級別総合原価計算は価値移転的原価計算であるのに対して、連産品の原価計算は負担能力主義に基づく点で異なる。

予想配点：各5点

第183回簿記能力検定試験

上級 原価計算 解答速報

問題1

問1 [3.24]年

予想配点：8点

問2 第1年度 [900,000]円 第2年度 [1,200,000]円

第3年度 [2,700,000]円 第4年度 [3,000,000]円

予想配点：各3点

問3 [8.13]%

予想配点：8点

問4 第1年度 [12,900,000]円 第2年度 [13,200,000]円

第3年度 [14,700,000]円 第4年度 [15,000,000]円

予想配点：各3点

問題5

(1) [3.48]年

(2) [3.89]年

予想配点：各5点

問6 [6.13]%

予想配点：5点

問7 [1,296,720]円

予想配点：5点

問題8

(1) [3,468,360]円

(2) [Δ 2,517,840]円

予想配点：各5点

問題2**問1**

- (ア) [9.5]%
- (イ) [11.1]%
- (ウ) [14,720,000]円
- (エ) [9.1]%
- (オ) [10.8]%

予想配点：各4点

問2

「事業部自体を評価するための投資利益率」の基礎となる考え方

事業部自体の評価において中心となる概念は、その事業部に対する追跡可能性である。よって、事業部自体の評価のための投資利益率は、その事業部に跡づけられる全ての要素から計算する。

予想配点：5点

「事業部長を評価するための投資利益率」の基礎となる考え方

事業部長の評価において中心となる概念は、事業部長にとっての管理可能性である。よって、事業部長の評価のための投資利益率は管理可能な要素のみから計算する。

予想配点：5点

ネットスクール WEB 講座のご案内

第 183 回全経簿記能力検定上級の受験、お疲れ様でした。

ネットスクールの WEB 講座では、今回の試験を受けてこの後の進路・学習についてアドバイスを行う各種 **“無料説明会”** を開催いたします。

WEB 講座と同じシステムを使い、インターネットを通じて Live 配信を行います。Live 配信では、アンケートやチャットを通じて講師とのコミュニケーションをとることもできますので、気になることがあれば、ぜひご参加頂き、講師にご相談下さい。

イベント名	日時	内容
全経簿記上級受験者のための 税理士&日商簿記1級 WEB 講座 無料説明会	7月12日(火) 20:00~ (Live 配信)	第 183 回全経簿記上級試験に向けて学習した成果を活かして、11月の日商簿記1級や来年8月の税理士試験に挑戦するための効率的な学習プランをお届けします。(担当:中村雄行)

※日程は予告無く変更する場合がございます。詳しくは、ネットスクールホームページにてご確認ください。

※Live 配信を行った無料説明会は、翌日以降オンデマンド配信も行います。

WEB 講座 Live 講義画面はこんなにすごい!

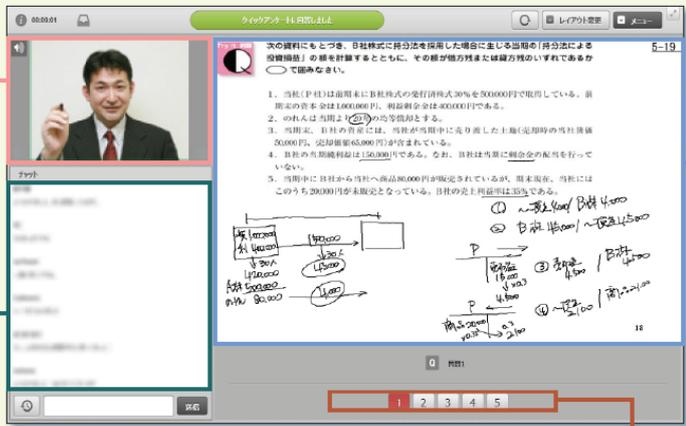
1 講師画面

講師が直接講義を行います。
臨場感あふれる画面です。

3 ホワイトボード画面

板書画面です。あらかじめ準備された「まとめ画面」や「資料画面」に講師が書き込んだりします。もちろんプリントアウトも出来ます。

ライブ講義では、
チャットで質問OK



2 チャット画面

講師へのメッセージはいつでもどうぞ!
「質問」はもちろん「今のところもう一度説明して!」など、受講生からのお願いも OK です。

4 アンケートボタン

講師から「今のところわかりましたか?」などの確認をしたり、「皆さんに聞きますね」などの問いかけに使います。

見逃しても大丈夫!
オンデマンド配信

学びやすさがスゴイ!!
だから続けられる、合格できる

電話・メール・SNSで
質問・相談受付

オンデマンド講義は
1.5 倍速再生対応

スマホ・タブレットでも
受講できる!

詳しくは、ネットスクールホームページをご覧ください。

【URL】 <http://www.net-school.co.jp/>

【お問い合わせ】 0120-979-919(平日 10:00~18:00)



【税理士簿財コースの特典】
平成 29 年度向け税理士 WEB 講座の
簿記論・財務諸表論標準コースに申込みと、
日商簿記1級の商簿・会計基本講義も
無料で受講できます('16年11月まで)。